

地域貢献活動
みんなでつくる
景観まちづくり
～地域の安全・安心はゴミステーションから始まる～



青年建築士の集い (札幌開催)

日時：平成23年5月21日(土)
13:30～17:00

会場：札幌市北白石地区センター

主催：(社)北海道建築士会青年委員会

主管：(社)北海道建築士会札幌支部青年委員会

参加者：青年委員 86名
市民 53名
大学生 2名



📁 もくじ



1. 札幌支部青年委員長の挨拶



2. コメント



3. イベント概要



4. イベントのもよう



5. ワークショップ
～模造紙の書き込みより～



6. アンケートの結果



7. プラダンゴミサークルの作り方



1.札幌支部青年委員長の挨拶

参加された方々へ

（社）北海道建築士会青年委員会 委員長 針ヶ谷 拓己

5月21日に開催いたしました、「みんなで作る景観まちづくり～地域の安全・安心はゴミステーションから始まる～」に、何かとご多忙中、ご参加をいただきまして誠にありがとうございました。

イベント前半は、カラスよけゴミサークルの紹介・実演、「自分たちでまちを創る！」と題した講演。そして後半は、「世代間交流のできるまちづくり」をテーマにワークショップを行いました。

特にワークショップでは、世代を越えて意見交換ができたことで、とても新鮮なものとなりました。私どもとしましても、今後の活動へのヒントとなる貴重な意見をたくさんお聞きすることができました。本当にありがとうございます。

今後も引き続き、建築士会として地域に貢献ができるよう努めていきたいと考えておりますので、みなさまには、どうぞ今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

2.コメント



藤女子大学人間生活学部人間生活学科 教授
ていね夏あかり実行委員長
大垣 直明

北海道工業大学環境デザイン学科
教授を経て、現職

「みんなで作る 景観まちづくり」に寄せて

5月21日、（社）北海道建築士会札幌支部青年委員会主管のイベントに参加して驚いたのは、建築士会が白石区に対して「まちづくり」をしかけていたことである。これまでにゴミステーションのデザインと作り方を提案し、その普及活動に加え、先日はその実践報告と地元町内会とのワークショップを実施した。ワークショップを通して、地元の高齢者と建築士会に所属する青年達が熱い議論を展開し、多くの交流成果を得ていたと思う。今後の活躍を期待したい。



3.イベント概要



青年建築士の集い
（札幌開催）

- 日 時 平成23年5月21日（土） 13：30～17：00
- 開催場所 札幌市北白石地区センター
- プログラム

第一部

- (1) 開 会
- (2) 挨拶 (社)北海道建築士会 青年委員会 委員長 神田光英
(社)北海道建築士会 札幌支部 青年委員会委員長
針ヶ谷拓己
- (3) 来賓挨拶 札幌市白石区 区長 堀口 洋一氏
- (4) 景観の重要性の説明
- (5) 札幌支部 青年委員会の今までの取り組み紹介
- (6) ゴミサークルの製作説明
- (7) 講 演 テーマ 「自分たちでまちを創る！」
講 師 藤女子大学 大垣直明教授

第二部

- (1) ワークショップ テーマ「世代間交流のできるまちづくり」
- (2) 感想発表
- (3) 総 評 藤女子大学 大垣直明教授
- (4) 挨拶 北白石連合町内会 会長 山田政雄氏
(社)北海道建築士会 会長 高野壽世
- (5) 閉 会



4. イベントのもよう ①

イベント概要

第1部は、景観の重要性についての説明を行い、つづいて、今まで札幌支部青年委員会で取り組んできたクラスよけゴミサークルの紹介・実演を行いました。その後、「自分たちでまちを創る！」と題した講演を、藤女子大学の太垣教授により行なっていただきました。

第2部は、「世代間交流のできるまちづくり」をテーマにワークショップを行いました。

ワークショップは、ワールドカフェ方式により行い、青年建築士と町内会の方々が世代を越えた活発な意見交換がなされました。

□第1部

○景観の重要性の説明

「景観ってなに？景観まちづくりってなに？」「割れ窓理論とは？」など説明。

住民みんなでまちをきれいにすることが、住民のモラルを高め、安全・安心なまちとなり、さらには愛着のもてるまちとなることを説明しました。



○札幌支部 青年委員会のこれまでの取り組み紹介



○ゴミサークルの製作説明



○クラスの特性について



○講演 テーマ「自分たちでまちを創る！」 講師 藤女子大学 太垣直明教授
道内におけるまちづくり事例の紹介や、「ていね夏あかり」の活動などについて説明をしていただきました。

「まちづくり」とは？

地域住民が主体的に取り組むまちを魅力化し豊かにする活動

ひとりひとりが楽しんで参加する
ひとりひとりが取り組みの意義を理解し、主体的に参加する
そうすると、新しい価値が蓄積されそれが次のエネルギーを生む



まちづくりの具体的内容は？

- ①ひとづくり
(こどもを育む／人間関係の醸成／異世代間の交流など)
 - ②文化づくり
(まつり・イベント／伝統芸能の継承／北の生活文化の創造など)
 - ③空間・環境づくり
(景観形成／環境美化／環境保護など)
 - ④経済づくり
(特産品の活用／新しい起業など)
- お互いに連動





4. イベントのもよう ②

□第2部

○ワークショップ

テーマ「世代間交流のできるまちづくり」

【題1】世代間交流の「課題」や「悩み」は？

町内会・建築士会でどんな問題を抱えているのか
共通の悩みがあるか？
なぜ住民同士のつながりが無くなってきたのか

【題2】世代間で「伝える・聞く」

「町内会」⇔「建築士会」
経験・知識の継承
普段どんなことを考えているの？

【題3】「笑顔」になる世代間交流のきっかけを 考えよう？

○ワークショップの様様



○語り合い中！！



○『旅人』たちの落書き



●ワールドカフェとは？

- ◇カフェのような空間でオープンに会話することで、多様な知識や知恵を生み出すワークショップ手法
- ◇テーブルごとに机上の模造紙に自由に『落書き』（メモ）を描く
- ◇20分～30分程度の話し合い
- ◇テーブルマスター以外は『旅』をする
『旅』＝席替えをすることで、より多くの方と意見交換ができる

○それぞれ語り合いながら落書き！



○世代を越えての交流



○最後にワークショップを振り返って感想を





5.ワークショップ ～模造紙の書き込みより～ ①

～世代間～

「課題・悩み・問題点」 的なもの

- ◇若者が話を聞かない
- ◇会話がな
- ◇若人との関わり方

- ◇中間の人が居ない
- ◇20代の若者不足
- ◇若い世代が居なくなっている

- ◇新人が入るが世代間差がある
- ◇年の差の開きが多くなった
- ◇年齢が離れていると価値観の違い
- ◇世代間の大きな壁
- ◇同世代でも難しい
- ◇同世代でも交流がない

- ◇最近の若い人はコミュニティが減少している
- ◇住んでいる地域との関係が希薄
- ◇白石に大学がない→若者が少ない
- ◇新興住宅地は若い、将来の高齢化・・・
- ◇シニア世代が独自のサークルを作っている。若手が入る余地がない
- ◇若手とシニアは仕事でしか話さない
- ◇男同士だとどうもうまいかない

「ヒント・解決策」 的なもの

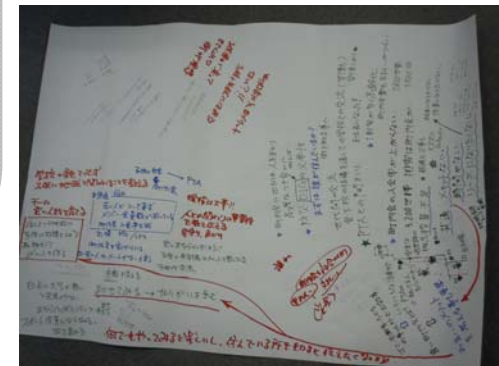
- ◇年齢を越えた共通の趣味の話などができれば・・・
- ◇若い人と高齢者相互の「教え体験」は重要
- ◇若い人は思っているより聞く耳を持っている人ではないか

- ◇青年層と高齢層のきっかけづくり
- ◇世代間で「伝える・聞く」
- ◇世代間交流必要
- ◇世代間格差を無くそう

- ◇コミュニケーションをとれる場面を増やす
- ◇隣近所と仲良くして下さい（個人情報条例）

コメント

年齢差によるコミュニケーションを問題にしている方が多いです。今回のワークショップで感じられたと思いますが年齢に違いがあっても皆さん交流を求めているのではないのでしょうか？それにはまずは挨拶から始められ顔を知らせてもらうことから始まるのかもしれませんが。特に若者はパソコン・メールなどで直接の交流が得意な方が多くなってきていますので、先輩方が率先して行うことが必要かもしれません。そこから若者も気付きに繋がりが交流が生まれると思います。世代間の問題を考えることは、まちづくりには、とても必要な事ではないでしょうか。





5.ワークショップ ～模造紙の書き込みより～ ②

～入会～

「課題・悩み・問題点」的なもの

- ◇町内会に入らない人もいる
- ◇世代に関係なく町内会に入らない人
- ◇若い人が入って来ず会員数が減っている
- ◇アパート・マンションの住民は入会者が少ない
- ◇加入率は高いが、アパートの問題
- ◇マンションと戸建てで付き合い方の違いがある
- ◇町内会に入るメリットない！！？
- ◇一軒家が多く高齢化、町内会費も支払いがづらい

「ヒント・解決策」的なもの

- ◇時代の変化に町内会の仕組みがついていっていない
- ◇町内会費を払っているが、何をやっているかわからない
- ◇会費を払っているだけみたいなの！？
- ◇町内会が無くても生活に困らない
- ◇隣人を知らないし、興味もない。コミュニティー不足を感じる
- ◇町内会費→ゴミ・街灯代
- ◇子供と年配にはメリットある
- ◇お互いのメリットを考えることも重要

コメント

建築士会・町内会共に会の入会者が少なくなっている現状があります。特に若者が多いアパート・マンションが問題としている方が多いですね。建築士会側より町内会についての意見が多く出ていますが、これは建築士会も同じ問題を抱えていることだと認識する必要があります。会の存在が地域・会員の為に必要な活動をする事、そして分かるように広報していくことが入会に繋がることではないでしょうか。またメリットを考えることは、個人個人で価値観が違い難しい所がありますが、この時代・流れを考えた場合、必要なことかもしれません。

～役員～

「課題・悩み・問題点」的なもの

- ◇町内会の役員をしてくれる人が少ない
- ◇ボランティア等のやり手がいらない
- ◇役員の担い手がいらない
- ◇同じ人がやり続けている
- ◇町内会の役員は高齢者が多い
- ◇定年退職後がほとんど
- ◇「ヒマができてから参加」では高齢化が進む
- ◇仕事現役世代の人はなかなか入ってこない
- ◇現状では若い世代は参加していない
- ◇町内会への若い世代の参加が少ない。勧誘する側も少ない。
- ◇活動するにも若い人が・・・
- ◇若い人に役員をやらしてもらえない。
- ◇最初の一步を踏み出してもらえない
- ◇仕事が忙しく町内会の役職を引き受けられない
- ◇仕事をしているとなかなか参加できない

「ヒント・解決策」的なもの

- ◇町内会への参加の仕方がわからない。
- ◇町内会の存在を理解していない。最初のキッカケがない。
- ◇手伝える方法がわからない
- ◇町内会一員としての自覚
- ◇まずは持ち回りの班長からでも
- ◇町内会の年配者の輪に入りにくい。
- ◇スポット役員ならなれるし出てきてくれる
- ◇役員をやらさないが、お手伝いしてくれる若い人が出てきた
- ◇最近では活動に参加している
- ◇若い人の時間の制約もわかる
- ◇まかせてみる→やりがいを生む
- ◇意識を変える
- ◇時代の関係でそうなった
- ◇会議拘束時間

コメント

建築士会・町内会共に会を運営する役員が少なくなっている現状があります。特に町内会では高齢の方々が多くなり現役の方が少ない、それには仕事の問題などが挙がっています。現役が少ないと会員が何を望んでいるのかなどの意見を汲みとることが出来なくなり衰退することにも繋がります。まずは役員からではなく、興味があるお手伝いからお誘いして、活動の楽しさ必要性が分かってから役員になってもらう方法もあります。それには活動することが必要ですので、まずは自分達でできる事を考え一歩一歩前に進むことが、役員の問題解決できる道ではないでしょうか。



5.ワークショップ ～模造紙の書き込みより～ ③

～活動～

「課題・悩み・問題点」的なもの

- ◇町内会はボランティアであることが理解されていない
- ◇町内会のことは戸建の住人がやるべきと考えている人もいる
- ◇年齢に関係なく参加できるイベントも少ない
- ◇防災DIGの必要性
- ◇災害時支援の取り組み

「ヒント・解決策」的なもの

- ◇除雪が良いコミュニケーションになっている
- ◇昔は町内会対抗運動会、出店、懇親会を実施していた
- ◇町内全ての家に鉢植えプレゼントを実施したこともある
- ◇町内会で盆踊りをしてコミュニケーションを図ろうと企画している
- ◇イベントによる交流
- ◇普段は忙しい若いお母さんも盆踊りには子連れで来る

コメント

活動には参加したいが時間がない方や広報の問題で知る方法がない方もおられました。町内会は若者との活動が、建築士会では年配者との活動が少ないことがわかったのではないのでしょうか。それにはこのようなワークショップを開催して直接その年代から教えてもらったり、これだけ情報がわかる時代なので他の町内会や建築士会の活動を参考にすることも一つかもしれませんね。活動することで大切なのが会をお手伝いしてくれた方々が一緒に目標に向かってやり遂げた時に、みんなで感謝の気持ちで接することが、次の活動に繋がることだと思います。

～広報～

「課題・悩み・問題点」的なもの

- ◇町内会ホームページは世代間でギャップ
- ◇町内会にも青年部があれば！
- ◇回覧板の内容が多すぎて見きれない
- ◇回覧板がまわってこない。

「ヒント・解決策」的なもの

- ◇人とのつながりを持つ（Mailではダメ！）
- ◇回覧板のIT化には反対！アナログでもフェイス・トゥ・フェイスは大事
- ◇回覧板をインターネット化→渡すコミュニティが無くなる
- ◇情報が増えると人は小さくなる気がする

コメント

広報の重要性は皆さん感じていたと思います。現在町内会は回覧板が基本の情報手段になって、毎月地域の方々が顔を合わせることができるとも事実です。しかし現在はメールやホームページなどが当たり前に使われている情報手段でもあり、これからも普及していくでしょう。基本はまず見ていただかないと広報する意味がないのでその地域にあった方法を考える必要があるのではないのでしょうか。ITも使い方により仲間が増えることもあります。上手く利用するために、この広報だけお手伝いしてもらおう若い方を育てることも必要かもしれません。

～子供～

「課題・悩み・問題点」的なもの

- ◇町に子供がいない、若い人がいない
- ◇公園に子供がなくなった。人づきあいが希薄になった
- ◇子供に対する事件が多い
- ◇安全な通学路の概念
- ◇晩婚化
- ◇高齢出産の人が増えた

「ヒント・解決策」的なもの

- ◇子供達が戻ってきてくれる街が理想
- ◇色々な産業で人を増やして
- ◇登下校の指導を通しての学校との交流
- ◇PTAとの関わり
- ◇見守り・声かけ
- ◇防犯・安全・パトロール
- ◇少子化を防ぐ

コメント

一軒家は子供が少なくなり、マンションやアパートなどに若い方や子供が多くなってきているのが現状ではないのでしょうか。地域が子供を通して交流していくことは、若い世代の親に繋がることでもあり、そして重要な活動だと誰でも思うでしょう。学校・PTA・サッカー少年団・野球少年団などの交流をしていき、徐々に一般の方々に浸透していくことも考えられます。子供たちが安全に生活できるまちになるように、子供のパトロールなどのお手伝いを続けて行くことにより、犯罪が少なくなり、親の意識も少しずつ変わることにつながるかもしれません。



5.ワークショップ ～模造紙の書き込みより～ ④

～高齢者～

「課題・悩み・問題点」 的なもの

- ◇介護の必要な人
- ◇独居老人のウエイトが大きい
- ◇高齢化による除排雪の問題が悩み
- ◇「親の介護」と「子の育児」という生活の二重問題がある

「ヒント・解決策」 的なもの

- ◇個人情報保護の壁で情報をもらいづらい時代になっている

コメント

高齢化は大きな社会問題でもあり、実際、敬老の日のお祝いなどの年齢が上がってきていると聞きます。
介護の問題・独居老人の問題・高齢化による除排雪の問題など、地域が助け合いながら生活していくことが必要なことだと理解することが必要ですね。町内会が民生委員の方々と協力して、地域の内容を把握することでいろいろな解決の糸口に繋がります。最近では東日本大震災の件からボランティアの重要性を考え始めた方が多くなってきたので、一般の方々を参加させる方法を考える必要があるかもしれません。

～挨拶～

「課題・悩み・問題点」 的なもの

- ◇町内会でも挨拶がない
- ◇挨拶はするが会話がでない
- ◇親子共々、挨拶がない！
- ◇挨拶がないまま将来高齢化したらどうなるか？
- ◇あいさつのタイミングってある？

「ヒント・解決策」 的なもの

- ◇身内でも挨拶をしてあげればいい
- ◇あいさつは大切。あいさつから始まる
- ◇笑顔は大事。むすっとしていたら会話しづらい
- ◇顔見知りの人とだけでもあいさつを
- ◇小学生があいさつしてくれるとやはり気持ちいい！

コメント

コミュニケーションで挨拶が重要だと考えている方が多かったです。知らない人に挨拶することは勇気があることでもあり、挨拶しても無視する人がいるのは事実です。しかし挨拶は次に進む一歩になるので、続けていくことが必要になるのではないのでしょうか。それにはまず家庭での挨拶を習慣にすることが、地域の方々に挨拶できるようになる第一歩となると思います。身近だから慣れ合いになりできていない方が多くなってきているので、まず他人に求めるよりも自分から始めてみる必要があるのかもしれません。

～モラル～

「課題・悩み・問題点」 的なもの

- ◇モラル
- ◇しつけが町を作っているのではないか
- ◇小さい時からのしつけが大事
- ◇社会常識教育が必要では
- ◇社会の中の常識を学ぶ場を

「ヒント・解決策」 的なもの

- ◇自分が幸せであるべき
- ◇自分の気持ちが大事
- ◇自分が楽しい&幸せが相手を幸せにする
- ◇感謝の気持ちを持ってきている
- ◇全てきっかけを知らないだけ
- ◇人との関わりの重要性を教える
- ◇年寄りへの助け合い
- ◇学校+親で必ず子供に地域と関わることを教える

コメント

学校でのしつけや社会常識を向上させる必要性を考えている方がいました。時代と共に変化するものと変化してはいけないことの区別が出来ていない方が多い現在では、誰がそれを教えるのか難しい問題です。
子供は親を見て育つといわれるぐらい影響がありますが、その親自体、モラルが欠如している方がいますし、学校では限界があります。このことから私達は相手に求める事ではなく、まず自分から進んで何事も楽しく感謝の気持ちで接することにより、相手が変わっていくことを忘れないでいきたいと思っています。



5.ワークショップ ～模造紙の書き込みより～ ⑤

～ゴミ問題～

「課題・悩み・問題点」的なもの

- ◇町内会外の方が勝手にゴミを捨てていく
- ◇ステーション形式ではなく個別収集
- ◇カラスがネットを持ち上げてゴミをあさる
- ◇ゴミステーションが歩道にあるため捨てていく
- ◇ゴミ収集と除排雪が一番の課題である
- ◇ルールを守らない人を注意したら逆ギレされた

「ヒント・解決策」的なもの

- ◇ゴミの収集は地域で違う
- ◇ゴミステーションの問題は無い…
- ◇ゴミステーションが無い…
- ◇カラス問題でプラダンは有効

コメント

今回提案したカラス対策用のプラダンサークルは皆さん好評でした。しかしまだまだゴミ問題は解決していない所が多くあり、個別収集という考え方も一つあるかもしれませんね。現在のゴミ収集方式が当面続くと思いますので、まずはきれいにする方法を考えて、地域の方々と協力して改善していくことが、町内会の存在を認識してくれて「まちづくり」に繋がることだと考える必要があります。その意味でサークルは子供でも作れますので、親子で製作することでゴミ問題を考えるキッカケにもなりますから、このサークルからいろいろな活動を考えてみませんか。

～まちづくり～

「課題・悩み・問題点」的なもの

- ◇まずは誰が住んでいるか？まちを知ることへ…
- ◇良いまちづくりをしよう！
- ◇三世代交流

「ヒント・解決策」的なもの

- ◇参加すると楽しい。声かけは大事。「伝える」「聞く」こと
- ◇何でもやってみると楽しい
- ◇町内会に出向き、人を知り、高度なつきあいへ

コメント

「世代間交流のできるまちづくり」をテーマに今回話し合いましたが、いろいろな方との交流は必要だと感じた方は多いのではないのでしょうか。やはり「まちづくり」にはそこに住んでいる方の生の声を聞く事が重要になり、そこには年齢・性別など関係なく様々な方と話し合うことが必要です。まちづくりを身近に考えていただくように、建築士会がもっと積極的に地域に行き、話し合うことが必要ですね。建築士会がキッカケづくりをして地域が実践していけば各地域の「まちづくり」が活性化すると感じています。

～笑顔～

「課題・悩み・問題点」的なもの

- ◇幸福が笑顔
- ◇心の笑顔
- ◇笑顔を見ると笑顔になる
- ◇おいしい物を食べているとき
- ◇声かけの大切さ
- ◇良好なつきあい

「ヒント・解決策」的なもの

- ◇小学生からの挨拶は嬉しい
- ◇子供と接するときは自然と笑顔になる
- ◇子供がきっかけ
- ◇サークル活動に入り、様々な方と交流を図る
- ◇自分から進んで
- ◇否定せず共感することで笑顔になってもらえた

コメント

皆さんいろんな笑顔があることを再認識したのではないのでしょうか。人との交流する時に笑顔で接してもらえたら誰でも嬉しくなりますね。なかなか笑顔をつくることは難しいと感じている方もいると思いますが、まず自分が楽しく喜んで行動すれば自然と笑顔になります。人は自分の鏡という考え方もありますので、自分さえ良いと思わないように相手に喜んでもらいたい気持ちが何事にも必要ではないでしょうか。「まちづくり」は、ひとつづくりといわれます。笑顔で楽しくすることで継続していけることを忘れないで活動して行きたいですね。



6.アンケート結果 ①

1.景観についての感想をお聞かせ下さい。
まちを住みよい所にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

	町内会	建築士会・学生
a. きれいなまち	14	22
b. 安全・安心なまち	16	28
c. 気楽に挨拶できるまち	17	40
d. 住民と協力できるまち	16	21
e. 町内会が活性化できるまち	13	16

※その他自由回答

町内会

◇ 駅周辺の景観、舗道の整備

建築士会

- ◇ 交通の便
- ◇ 住民がみえるまち
- ◇ 自由にアクセス又はアクセスしやすいまち
- ◇ コンビニの設置

コメント

気楽に挨拶ができるまちが町内会・建築士会共に高くなっています。特に建築士会側が非常に多く、普段から地域の方との挨拶ができていないと感じている方が多い結果ではないでしょうか。他の項目に比べてわかりやすく、そしてすぐ実行できる挨拶を私達はもう一度考える必要があります。それにはまず自分から積極的に声を掛けたいですね。

2.建築士会の会員が提案するゴミサークルについてお聞かせ下さい。
『プラダンサークル』は使ってみたいと思われませんか？

	町内会	建築士会・学生
a. 既に使っている	19	2
b. 使ってみたい	6	35
c. どちらでもよい	0	11
d. 使いたくない	0	0
※マンションなので	0	2

既に使っている方はその感想を、それ以外の方はその理由も教えてください。

町内会

- ◇ 手軽さや安価、女性でも製作できる
- ◇ 清掃しやすい、目につきカラスも来ない
- ◇ 手軽につくれて誰でも使える
- ◇ コストが安く手軽に作れる（2人）
- ◇ どこから見てもきれいでゴミが散らかっておらず非常に良いと思います
- ◇ あまりカラスが来ない、色彩があってきれい、いつも整理されている
- ◇ 手軽に作れる、製作段階で町内会の交流が図れる（管理をどのようにしているか知りたい）
- ◇ 大きな道路に面している「プラダンサークル」はまだまだ汚い、モラル（住民）の改革も必要
- ◇ 今のところ問題はまったくありません。

建築士会

- ◇ コストの安さ、使い勝手の良さ
- ◇ ローコストで手軽につくれるし見た目が衛生的
- ◇ デザイン・コスト。・コストが安い
- ◇ カラフルなデザインが良い、Good
- ◇ 軽い、高齢者にも扱いが楽、メンテも楽
- ◇ デザインが良いので住民が大切に使用していただけるのではないかと思います
- ◇ ネットだけではゴミが散乱しやすい
- ◇ 自分のエリアはスチール製のBOXがあるので必要ないが、網（ネット）のみの所は使っても良いと思う
- ◇ 鉄カゴのゴミステーションが設置されているが、錆で汚れたり、扉が重かったりするため



6.アンケート結果②

3.今回は『世代間交流のできるまちづくり』について活発な意見交換ができるように、話し合いの場を設けさせていただきました。ワークショップに参加された感想をお聞かせ下さい。

	町内会			建築士会・学生		
	はい	いいえ	どちらでも	はい	いいえ	どちらでも
a.自己紹介や思い出話しがしやすい雰囲気でしたか	18	0	2	46	0	5
b.世代に関係なくお互いの問題点を話し合えましたか	17	0	3	47	2	4
c.町内会、建築士会の双方の意見交換ができましたか	18	0	2	44	2	4
d.人との繋がりが深まる世代間交流ができましたか	14	0	6	44	1	6

その他ご意見があれば記入して下さい

町内会

- ◇時間が無くて残念でした。でも若い人たちと交流できて良かったです
- ◇1テーマ12分では短い

建築士会

- ◇少し時間が足りなかったかなと思います
- ◇時間が足りず結論が出ない
- ◇世代を越えて思っている事は同じだなと感じた
- ◇良く接して下さり良かった
- ◇町内会の人と話すキッカケになった
- ◇素晴らしいワークショップでした

コメント

自己紹介から始まり問題点や意見交換などはできたようです。深まる世代間交流については、コメントにもあるようにワークショップの時間が短く、深まる所までは行かなかった結果かもしれません。しかし時間が短く感じるほど皆さん活発な意見が出ていたことで、良かったという意見に繋がったのではないのでしょうか。

4.身近な生活の中で、建築士会に望むことがありましたら教えてください。

町内会

- ◇耐震に関する問題・地震時の住宅について聞けたらと思います
- ◇地震時の家具の倒れ方の診断のお願い
- ◇空家が多くなってきている所が気になります
- ◇建築士会が行っている活動をもっと町内会との間まで利用させてほしい（DIG・道路・家などの課題について）
- ◇建築士会ではどのような活動をしているのか、今日初めて知った。もう少しPRしてみてもいいかな？

建築士会

- ◇どろぼうが入りづらい住まい、高齢になっても住み続けられる工夫、悪徳業者に騙されないためになど
- ◇震災地におもむいた方の体験談を聞きたい
- ◇もっと地域に貢献できる機会をつくってみては？
- ◇まず町内会に出向くべき、人を知らないとな建築士のスキルも伝わらないと思います



6.アンケート結果 ③

5.全体をとおして、本日の感想がありましたらご自由にお書き下さい。

町内会

- ◇建築士会の方が良く説明をしてくださりわかりやすかったです
- ◇楽しい時間を過ごせて、ありがとうございました。これからもがんばってください。
- ◇楽しく話が聞けて一日が有意義でした
- ◇自由な討論ができた
- ◇若い世代は町内会に入るキッカケが出来ない、また声掛けもしづらい
- ◇町内会活動に参加しているのは年寄りが多い、若い世代に加わってもらうため、働きかけの工夫をしたい
- ◇若い人達との世代間交流の必要性を感じた。街づくりには絶対に大事
- ◇子供から大人まで楽しく過ごせるようにと思います
- ◇住民自治の考えの、町の雪・枯葉など本当にその通り、まだお役所に連絡すれば的的な人が多い様に感じます

コメント

全体的な評価は高く、特にワークショップの交流を挙げている方が多かったです。町内会の方々には若い方との接点が少なくこの機会に働き掛けたい方や、まちづくりの必要性を感じた方がおられました。建築士会側は地域の問題を直接聞けることに良さを感じることができて、これからの活動に活かすことに繋がる体験が出来たようです。町内会の方々や建築士会もいろいろな世代の交流を求めていることがわかり、それが「まちづくり」に活かされるヒントになると感じられたのではないのでしょうか。

建築士会

- ◇このような場に参加させて頂き、とても有意義な時間を持つことができ良かったです
- ◇良く接して下さい本当に良かった、初の実践となりました
- ◇建築士会以外との交流いいですね
- ◇様々な年代の方と交流出来る良い時間でした
- ◇いい機会であったと思う。又同様の企画を続けてほしい
- ◇特にワークショップが素晴らしいです。こんなに町内会の人に参加いただいて、大変意義のあるものでした
- ◇意外に時間が短く感じた、大垣先生の話をもっと聞きたかったです。為になりました
- ◇機会があれば「ラグ」サークルを取り入れたいと思います。とても為になるワークショップでした今年の集いは収穫多し
- ◇今回はとても貴重なワークショップを体験できました。世代観の違い等が聞けて楽しかったです
- ◇かなり話しの盛り上がるワークショップでした。この形が良いです
- ◇時間が経つのが意外に早かった、お菓子をつまめるからというのがとても良い
- ◇生活基盤を安定させた上で全てのことが始まる
- ◇地域社会の活性化と安心と安定は比例することだと思っています
- ◇いいディスカッションになりました。町内会・建築士会共に入会に繋るメリットを考える時にきていると思います。意識向上はその後に付いてくるとい事もあると考えます
- ◇挨拶すれば笑顔になれるんだな

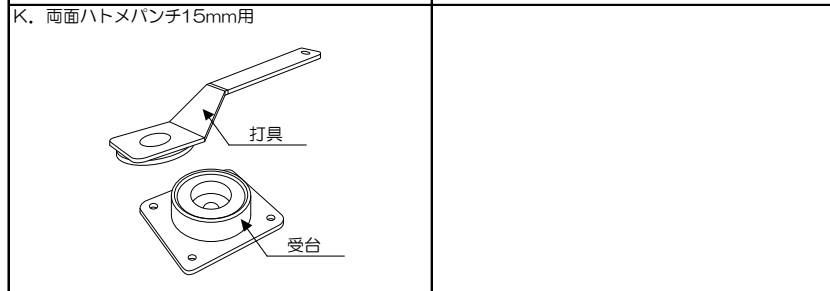
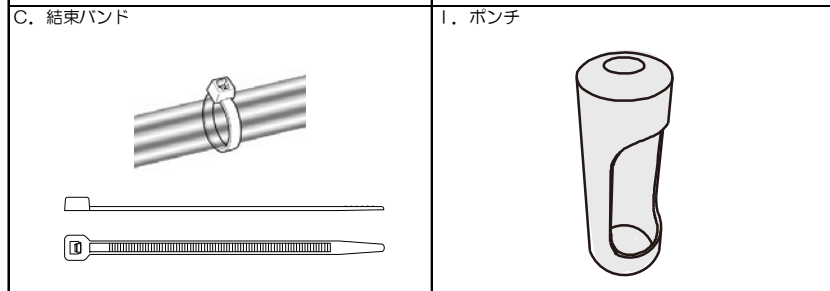
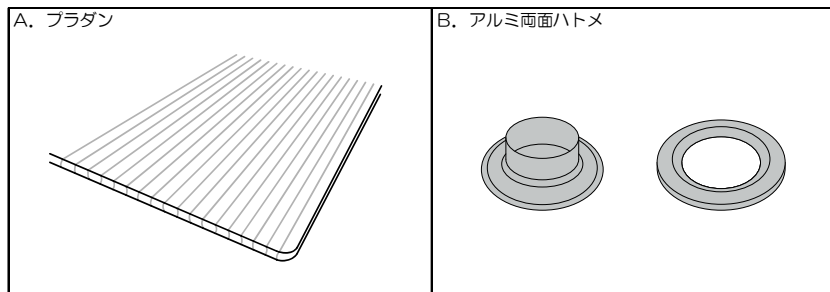


7. プラダンゴミサークルの作り方 ①

プラダンゴミサークル製作に必要なものリスト

	材料	サイズ	必要数
A	プラダン(色つき)厚さ5mm	1800mm×900mm	2枚
B	アルミ両面ハトメ	穴径15mm	60組
C	結束バンド(ロックタイ)		27個
D	ヒモ		3ヶ所

	道具・工具など	必要数
E	鉛筆	1本
F	カッター	1本
G	定規(カッターを使用しても良いもの)	1本
H	カッターマット	1枚
I	ポンチ	1本
J	ハンマー	1本
K	両面ハトメパンチ15mm用	1セット
L	パンチ	1本



参考材料費

1セット(10枚)にかかる材料費				
材料名	数量内訳	必要数量	1ヶ価格	価格(円)
プラダン1800×900	1枚を6分割して使用(2枚12分割を10枚使用)	1.67枚	1,155	1,929
アルミ両面ハトメ	パネル1枚につき6箇所×10枚	60個	11	660
結束バンド	パネル1枚につき3本×10枚	30本	2	60
ナイロンヒモ	最後の部分のみ	1m		11
合計				2,660

サークルの大きさ				
1セット/パネル枚数8枚	1セット/パネル枚数9枚	1セット/パネル枚数10枚	1セット/パネル枚数11枚	1セット/パネル枚数12枚
直径約110cm	直径約130cm	直径約150cm	直径約180cm	直径約200cm
高さ60cm	高さ60cm	高さ60cm	高さ60cm	高さ60cm
7.5セット/プラダン10枚	6.6セット/プラダン10枚	6.0セット/プラダン10枚	5.4セット/プラダン10枚	5.0セット/プラダン10枚

※ 材料費は、販売店により異なります。購入前にお調べください

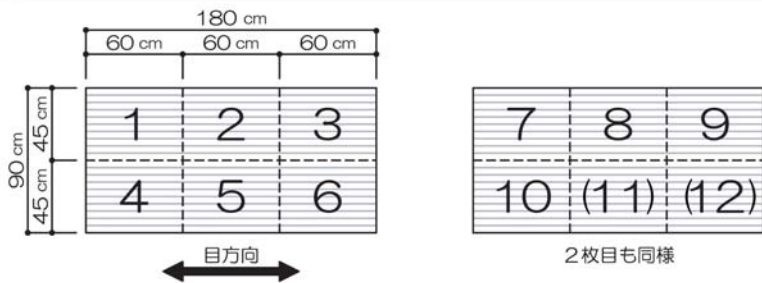




7. プラダンゴミサークルの作り方 ②

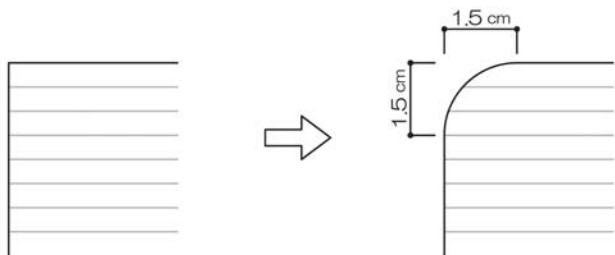
プラダンゴミサークルの作り方 ①

1 プラダンをカッターで切る



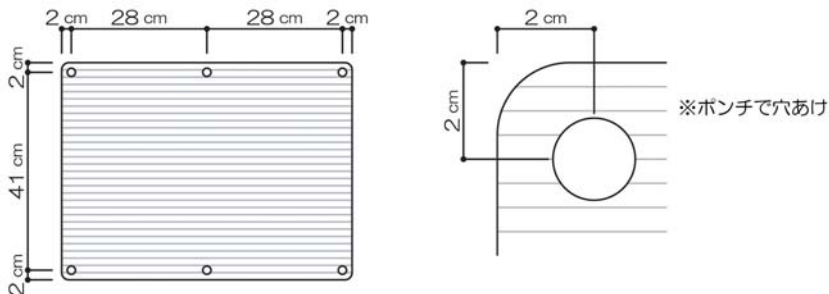
プラダンの目方向に注意して点線-----をカッターで切断する

2 切断したプラダンの角を丸くする



切断したプラダンの四隅を使い勝手が良いように丸くカットする

3 プラダンに穴を開ける

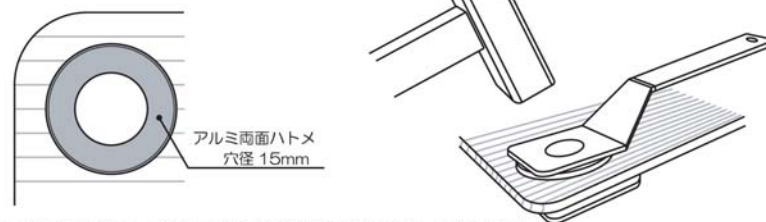


上の図を参考に1枚につき6ヶ所、直径約17mmの穴をあける

プラダンゴミサークルの作り方 ②

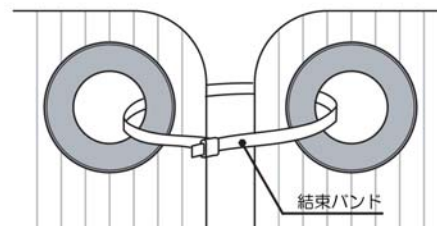
4 ハトメをつける

ハンマーでハトメパンチの上から数回打ちつける
ハトメパンチの使い方はハトメパンチに付属の説明書を参照する



ハトメパンチを使って先ほど開けた6箇所の穴にハトメをつける
②～④の工程を切断したプラダン10（12）枚についてすべて同様に行う

5 結束バンドでプラダンパネルを連結



6 完成!!

